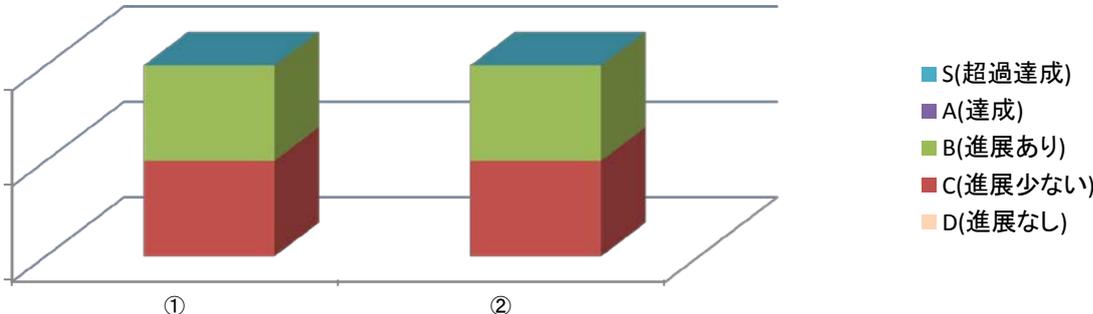


平成29年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策名	コミュニティの形成を進める人材や組織の育成を支援する			政策No.	13
所管部	産業・地域振興支援部	関係部	各総合支所		

2 展開する施策の評価

	評価分布	
	S	0
	A	0
	B	2
	C	0
	D	0

3 主な施策の取組状況

①	施策名	コミュニティ活動に取り組む多様な主体の支援				評価	B
	成果目標			活動指標			
	地域・地縁団体への支援により、コミュニティ活動が活発化している			町会・自治会の会員数			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	63,473会員	65,000会員	64,330会員	65,067会員	68,145会員	達成	
	施策の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・港区の人口増加に伴い、会員数は増加傾向にありますが、住居形態で集合住宅の割合が非常に高いことから、加入促進は進んでいない状況もあります。 ・平成27年度には、町会・自治会設立要件を緩和し活動しやすい環境整備も行っています。さらに平成29年度からは町会・自治会の更なる推進のため、集合住宅へのアプローチの方法などの具体策の検討も進めていきます。 					
②	施策名	コミュニティの担い手となる人材・組織の支援				評価	B
	成果目標			活動指標			
	活動の担い手となる人材が増加し、コミュニティ活動の活性化が推進されている			チャレンジコミュニティ大学の修了者数			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	468人	648人	526人	583人	643人	未達成	
	施策の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・芝地区では、自分のやりたいことをまちにつなげることで、まちに豊かさや幸せをもたらす人材の育成をめざした「ご近所イノベータ養成講座」、麻布地区では若い世代の地域の担い手の育成をめざす地域事業「ミナヨク（みんなで麻布を良くする）」、高輪地区では、60歳以上の方がこれまで培ってきた知識・経験・能力等を生かし、地域活動のリーダーを養成する「チャレンジコミュニティ大学」など、地域活動の担い手となる人材育成に取り組んでいます。 ・「チャレンジコミュニティ大学」は、每期定員60名で、4月から活動を開始していますが、未修了者の発生により目標値をわずかに達成していない状況です。ただし、未修了となるケースは、健康上の理由や家庭の事情によるものがほとんどです。 					
	施策名					評価	
	成果目標			活動指標			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	施策の取組状況						

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	107,745	99,834	109,250
流用・補正	△ 1,380	1,599	—
決算額	100,805	96,724	—
執行率	94.8%	95.4%	—

予算・決算額の推移	・平成28年度は、氷川山車復興支援の減により全体予算が減となっています。平成29年度については全体的に予算額を増額しています。
-----------	---

5 政策を取り巻く社会状況等

社会状況等の変化 ※基本計画策定時からの社会状況等の変化、国や他自治体の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会のイベントや会合への出席、区民参画組織や様々な協働主体と連絡を取り合うなど、現状の把握に努めています。 ・特に中学生の防災訓練参加については、赤坂地区の芋煮会、港南地域及び台場地域防災訓練を継続して実施しており、避難所運営などにおいて地域防災の中心を担う人材として期待されています。
---	---

区民の意見等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会に対する補助金の増額を求める声は以前から根強い状況です。また、高層の集合住宅の新築等により、既存の町会・自治会へ入りにくい、入居者だけで独自の町会・自治会の設立意向があるなどの状況があります。 ・みなとタウンフォーラムにおいて、町会・自治会の構成員や担い手不足等による活動の停滞を打開するため、区が実施する講座修了生の活用や地域住民と町会等とのふれあいの場の創出により、町会・自治会活動を支える担い手と町会・自治会をマッチングさせる仕組みづくりについて提言がありました。また、防災訓練の参加者を増やしていくよう、小・中学校主催の防災訓練や若者世代、家族が参加しやすいプログラムを増やすという提言もありました。
------------------------------------	--

6 一次評価（所管部門による評価）

政策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会会員数は人口増と町会・自治会設立要件の緩和により、増加傾向にありますが、町会・自治会組織の活性化については十分ではありません。 ・地域の人材育成のため、各総合支所においては、新たな地域事業を実施するなど若年層を取り込むための支援策を実施してきており、一定の成果が出ています。また、町会・自治会への加入促進策として、リーフレット（町会・自治会加入希望票付き）を作成し配布しています。
---------	--

今後の方向性 重点的に取り組む 施策・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・従来からのコミュニティの担い手としての町会・自治会は一部の団体で会員数の減少や会員の高齢化などにより、活動の担い手が減少しているほか、地域特性に起因する財源の不足など、多くの課題がありますが、地域の課題解決に向けた取組や地域の融和に大きな役割を果たしていることから、今後もそうした団体に対して、支援をしていく必要があります。また、地域活動の担い手として活動するNPOやボランティア組織の人たちや、チャレンジコミュニティ大学の卒業生などの地域のリーダーとなり得る人材を今後も養成し、地域活動に参加してもらうよう、取組む必要があります。
-----------------------------	---

7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）

	<input type="checkbox"/> 十分達成しています <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成しています <input type="checkbox"/> 達成が不十分です
政策の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標「町会・自治会の会員数」については、指標が目標に達しており、成果目標は達成しています。 ・地域コミュニティの新たな担い手として、人材を育成する事業を進めていることは評価できます。
今後の方向性 重点的に取り組む 施策・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・港区らしいコミュニティの活性化のため、人材と組織の育成支援、町会・自治会、NPOなど多様な主体や新旧住民が融和するような、新たなコミュニティの形成を進めていく必要があります。

施策① コミュニティ活動に取り組む多様な主体の支援

施策担当課	地域振興課	関係課	各総合支所・協働推進課			評価 (S~D)	B
成果目標	地域・地縁団体への支援により、コミュニティ活動が活発化している						
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
町会・自治会の会員数	63,473会員	65,000会員	64,330会員	65,067会員	68,145会員	達成	
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	人口増加、設立要件緩和を背景に町会・自治会の会員数も増加傾向にあります。平成28年度の実績ですでに平成29年度の目標値を上回っています。						
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業						
	町会・自治会等の地域・地縁団体への活動支援					地域振興課	
1)	達成状況	町会・自治会等の活動については、各総合支所は地域活動の支援や、町会・自治会が実施する交流会や研修会などの活動に対し丁寧な支援しています。また、毎月の町会発送物による情報の提供や町会・自治会連絡会などの場を活用し必要な情報提供を行っています。地域の実情に合わせた地域事業の実施など様々な支援を行っています。					
	課題	町会・自治会により活動状況に差があり、町会・自治会がより積極的かつ自主的に活動できるよう今後も支援していく必要があります。					
	地域・地縁団体の地域特性に応じた組織化の促進					地域振興課	
2)	達成状況	町会・自治会への加入促進リーフレットやパンフレットを作成し、様々な機会を捉え配付しています。町会・自治会への加入促進については、新たに建設されるマンション等の対しては早い段階で町会・自治会への加入促進につながるよう開発業者に働きかけるような支援を行っています。また、集合住宅における町会・自治会設立要件も緩和し、設立の支援を行っています。					
	課題	地域とのつながりを求めない住民も増加しているほか、加入促進に関しては、強制加入はできないため支援の方法を抜本的に検討していく必要があります。					
	コミュニティ活動組織への支援					地域振興課	
3)	達成状況	多様な主体と地域で連携できるよう、NPOやボランティア組織の支援を行っています。高輪地区では「にぎわいプロジェクト」の実施により、商店会との協働を推進するなど、地域のにぎわいのための創出に取り組んでいます。					
	課題	コミュニティの活性化のためには、従前の取組にとらわれることなく、地域のニーズを的確に把握しながら、新たな環境整備を地域とともに推進していく必要があります。					

施策② コミュニティの担い手となる人材・組織の支援

施策担当課	地域振興課	関係課	各総合支所・協働推進課			評価 (S~D)	B
成果目標	活動の担い手となる人材が増加し、コミュニティ活動の活性化が推進されている						
活動指標		26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況
チャレンジコミュニティ大学の修了者数		468人	648人	526人	583人	643人	未達成
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	チャレンジコミュニティ大学は平成19年度から事業を開始し、第11期生が受講しています。毎期定員60名で、4月から活動を開始していますが、受講生の事情により未修了者が発生するなど増加傾向にあるものの目標値にはわずかに達成していない状況です。						
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業						
1)	コミュニティリーダーの養成						地域振興課
	達成状況	町会・自治会の役員の高齢化による担い手不足については、一部の町会・自治会では世代交代ができて一方、なかなか新たな担い手が見つからないのが現状です。そのため、コミュニティリーダーを養成する講座などを実施しています。					
	課題	地域の活性化には、地域活動を推進するコミュニティリーダーなどを養成したあと、継続的な活動を自主的に行えるよう、場所や活動手段などの提供により支援していく必要があります。					
2)	各世代の地域活動への参加促進						地域振興課
	達成状況	あらゆる世代の地域活動の参加促進については、各総合支所が実施している様々な地域事業のほか、地区内大学生によるボランティアによる地域との連携の支援など、港区ホームページ、広報みなどなどを活用し、より多くの方々が参加できるよう情報発信を積極的に行っています。					
	課題	若い世代は時間的な余裕もなく、より魅力的なものに時間を費やす傾向にあります。若い世代を引き付けられるような活動内容や周知方法を工夫していく必要があります。					